

雨水出水浸水想定区域図に関するQ&A

	分類	Q.質問	A.回答
Q1	目的・根拠	雨水出水浸水想定区域図(うすいしゅっすいしんすいそうていくいきず)とは何ですか？	水防法第14条の2第二項に基づき、想定し得る最大規模の大雨が降った際に、下水道などの排水能力を超えたり、河川の水位上昇により雨水が排出できなくなったりすることで発生する「内水氾濫」の予測をまとめた地図の事です。
Q2		雨水出水浸水想定区域を公表した目的は？	大雨が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深を公表することで、皆様のお住まい、職場、学校の周りで想定される浸水リスクをご確認いただき、速やかに避難できるように活用するために作成・公表しています。
Q3	雨量	想定最大規模降雨とはなんですか？	想定最大規模降雨とは、極めてまれではあるものの、発生すれば甚大な被害をもたらす可能性がある最大級の大雨を指し、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率はおおむね1/1,000以下の降雨です。 町田市は153mm/hが想定最大規模降雨となります。
Q4	図面の内容	今回着色された区域がこれまでのハザードマップより広がっていますが、なぜですか？	最新の地形情報や詳細な解析方法を用いて作成しました。 従来よりも広範な条件を設定してシミュレーションを行った結果、これまでのハザードマップと比べて浸水の可能性がある区域が広がっています。
Q5		過去の大雨で浸水した箇所が図面上で着色されていないのですが、なぜですか？	過去に浸水した要因が落葉や土砂による排水施設の詰まりなどの場合、環境的要因をシミュレーション上で考慮できないため、過去の実績と異なる場合もございます。また、排水施設の整備が進んだ場合や、土地開発による造成などにより地形が変化した場合、現在の想定される浸水範囲及び浸水深が異なる場合がございます。
Q6		これまで安全だと思っていた場所も浸水する可能性があるということですか？	「必ず浸水する」という意味ではありませんが、想定を最大限に広げて検討した結果、浸水の可能性を否定できない区域として示しています。 万一来に備え、事前の心構えや対策を考えていただくための情報です。
Q7		着色されていない場所でも浸水が発生する可能性がありますか？	着色されていない場所であっても、想定最大規模降雨を超える規模の降雨が発生した場合や、河川の破堤や越水による氾濫が発生した場合などが考えられます。これらの場合、想定される浸水深が異なる場合があります。
Q8	今後の予定	今後、この浸水を解消するための整備の予定はありますか？	2025年度に策定した町田市雨水管理総合計画では、浸水リスクの高いところのうち重点的に整備すべき地域を決め、雨水管の整備などの対策を検討・実施します。市民の皆様にも敷地内に雨水浸透柵を設置すること等により、敷地外への雨水流出の軽減にご協力をお願いします。